

発表・コメント

4つの班（テーマ）、それぞれ参加者が、話し合いの成果について発表しました。



景観ルールづくり(班) 施設整備(班) 地域資源活用(班) 商店街・コミュニティ活性化(班)

＜アドバイザー・オブザーバー＞

はじめに：取組を考えるポイント

吉田 倫子 先生

- ・回数を重ね、より一層具体的に何をしていくかを煮詰めていきましょう。市に行ってもらふこと、自分たちで取り組むことも明確にすることが大切です。
- ・班の枠を超えて、関連することも出しましょう。

橋本 敬一 先生

- ・三原には多くの年中行事があり、本町もにぎやかなまちでした（資料配付）。
- ・無いもの探しではなく、三原や本町の歩みを振り返ることで、まちづくりのヒントが見いだせるのではないのでしょうか。

滝口 隆久 氏

- ・これまでの議論を整理すると、多くのアイデアなどが出されています。
- ・その中で、本町として何を強くしていくか、誇れることは何なのか、住むための本町に何か必要なのか、アイデアを掘り下げていきましょう。

全体会でのコメント

吉田 倫子 先生

- ・アイデアが具体的にできてきており、素晴らしい方向に進んでいると思いました。
- ・4つのテーマ・班に分かれています、本町に住んでいること、本町に住むまちであることが大切です。
- ・住民に伝わるようキーワードも考えましょう。

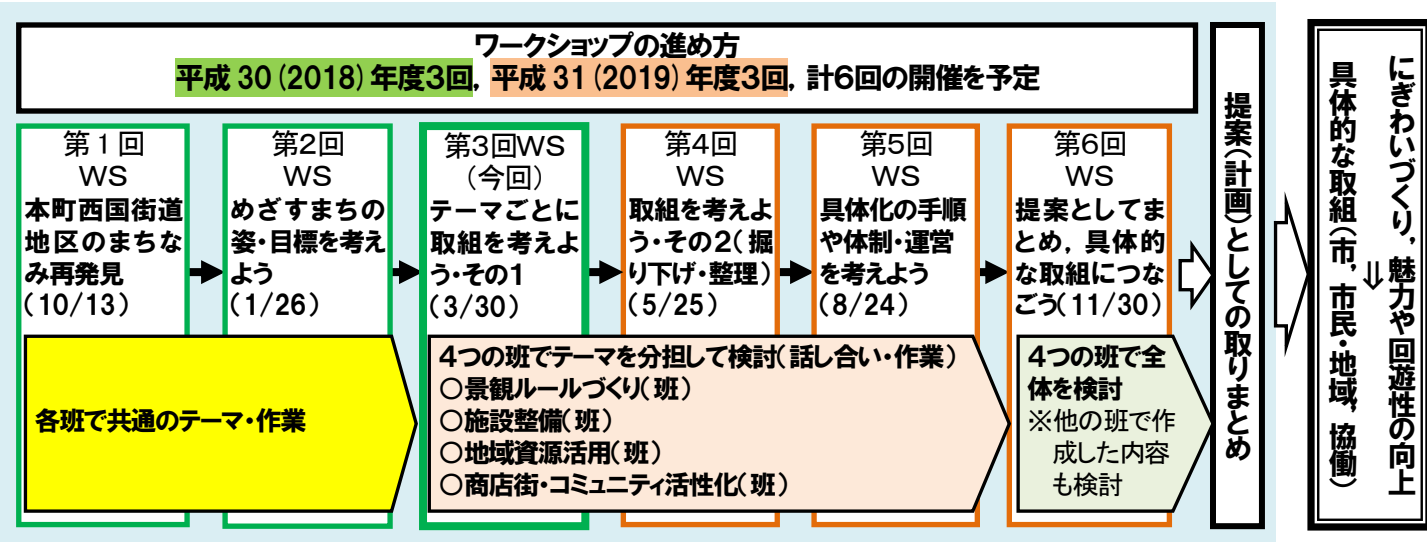
橋本 敬一 先生

- ・内容も具体的にできてきており、4つの班が同じ方向をめざしていると感じました。
- ・住みよいまちに本町がなっていくよう、みんなで取り組んでいきましょう。

滝口 隆久 氏

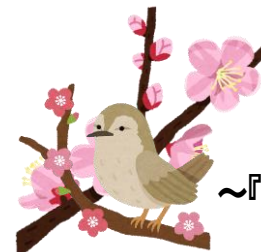
- ・素晴らしいアイデアが出され、また、魅力や課題もあることが伝わってきます。
- ・本町が誇れるまち、三原を代表するまち、そして住みやすく、景観に馴染み、やさしいまちになるよう取り組んでいきましょう。

【ワークショップの予定とその展開】



問い合わせ・連絡先

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番4号
 三原市 都市部 都市開発課 担当：奥広、西村
 電話：(0848) 67-6113 FAX：(0848) 64-6057
 E-mail：toshikaihatsu@city.mihara.hiroshima.jp
 ~まちなみづくり（まちづくり）に関わるご意見なども、お寄せください~



**本町西国街道地区
まちなみづくり通信 第3号**

~『にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上』をめざして~

平成31年(2019)4月 発行：三原市都市部都市開発課



本町西国街道地区において、にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上（地区の魅力づくりと活性化）をめざし、3月30日（土）に3回目のワークショップ（全体で6回を予定）を開催しました。

今回のワークショップでは、最初に「めざすまちの姿（将来像）」を、その後、4つのテーマ（景観ルールづくり、施設整備、地域資源活用、商店街・コミュニティ活性化）を班ごとに分担して、方針や取組などを話し合いました。

第3回ワークショップのプログラム等（要点）

日時：平成31年3月30日（土） 14:00~17:00 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室

参加者：住民・関係団体の皆さん20人、県立広島大学の学生1人、アドバイザー・オブザーバー3人、三原市4人、進行役4人、報道機関1人、見学者3人

はじめに

- 前回までの振り返りと成果
- 今日の進め方・内容
- 取組を考えるポイント（アドバイザー、オブザーバー）
※4頁を参照
吉田 倫子 先生：県立広島大学保健福祉学部 講師
橋本 敬一 先生：三原市文化財協会 会長
滝口 隆久 氏：(株)まちづくり三原 統括マネージャー



めざすまちの姿（共通）、テーマごとの目標や取組などを検討

4つの班で話し合いました。※2・3頁を参照

景観ルールづくり(班)	施設整備(班)	地域資源活用(班)	商店街・コミュニティ活性化(班)
-------------	---------	-----------	------------------

全体会

- 班ごとの発表
- アドバイザー、オブザーバーのコメント ※4頁を参照
- 終わりのあいさつ ※4頁を参照 ⇒終了



めざすまちの姿(将来像)について

前回までの意見を踏まえ、たたき台として次のようなめざすまちの姿(将来像)を提示しました。

【第3回WSで提案した「めざすまちの姿(将来像)」…たたき台】

西国街道と城下町の風情が彩る、人と資源が“輪”をなすまち・三原本町

人の輪、西国街道や参道・小路がつながるまちなみ(まちなみの輪)、城下町の風情を様々な場所で感じるまち(城下町の輪)、地域資源の輪、活動の輪・活動支援の輪、道の輪(ネットワーク、回遊)。本町にある多彩な“輪”を引き継ぎ、高め、さらに創り出す、住みよさ実感と交流のまちをめざします。

人：本町の住民、活動する人・働く人、来訪者、出身者、その他関係する人・関心を持つ人
 資源(魅力資源)：歴史的建造物、町割、街並み、眺望、行事・活動、寺社、歴史的な出来事・人物、お店、ある分野に詳しい人や“達人”など
 資源(生活基盤)：公共施設(道路、河川、公園など)、集会所、防災施設など
 ※まちなみ：建物や道路をはじめとした物的な環境・景観(街並み)とともに、そこで営まれている暮らしや産業(人々の営み・活動)を含めて捉えます。
 ※街並み：建物や道路をはじめとした物的な環境・景観に限定する場合、「街並み」と表現します。

この案(たたき台)に対して、大きくは次の意見が出されました。

- 西国街道と城下町で江戸・江戸が重なる
- 江戸から明治・大正・昭和・平成、現在までの歴史の連続性・重なり合いも大切
- 住みやすさ、暮らしやすさが表現できると良い
- 住んでみたいまち
- やさしいまちの視点が入ると良い
- 人が集まるまち
- 人と自然と街並みの調和
- 古いものの中に洒落たものがあるイメージ
- 本町らしいインパクトがない
- 将来像はどこにも負けない本町の魅力をしぼり、合意すべき
- 立ち寄りたくなるまち
- 西国街道、歩きたくなるまち
- 若い人が感じる魅力あるまち
- 西国街道と城下町の風情が彩る三原本町



みなさまも、本町地区の「めざすまちの姿(将来像)」についてご検討、そして、アイデアをお出しいただければ！
 ⇒次回(以降)のワークショップで
 または問い合わせ・連絡先(都市開発課…4頁)へ

上記の意見を踏まえ、次回(第4回WS)で将来像の修正案を提示する予定です。



4つのテーマ(班)に関する取組など

4つの班でそれぞれのテーマを受け持ち、取組などについて話し合いました。

景観ルールづくり(班)

＜景観づくりの目標・方針＞

- 和風イメージだけでなく、昭和の看板のある雰囲気も大切にしたい
- 色や形などのゆるやかなルール・人が住み続けたいくなる景観 等々

＜景観づくりの取組など＞

- メインの計画形成の区域：西国街道、宗光寺小路、八坂道(西国街道付近)、新規の都市計画道路とその沿道
- その他の参道・小路：阿房坂、妙正寺坂とその沿道 など
- 高さはルール作りの第一歩…主な視点場から三原城跡の眺望確保
- 新築や改修のとき、屋根(眺望も考慮)や壁などの色に配慮してもらう
- 市役所に建築の相談窓口：街並みに合う建て方、法制度、事例 等々



施設整備(班)

＜施設整備の目標・方針＞

- 人の動き(動線)が集まる本町通り(にぎわう通りづくり)
- 具体的な取組を煮詰めながら目標などを検討

＜施設整備の取組など＞

- 本町45号線の整備：カマボコ状の改良、色分けで歩車分離、イベント時の一方通行、街灯の更新、防災を考慮した整備…
- 小路・ネットワーク：緊急車両の通行、溝フタ、手すり、大島神社参道、案内サイン(名称表示板・説明板)、坂を健康増進の場に…
- 活動の場づくり：案内・休憩の場、ベンチ、(本町中央公園)の整備…
- 防災：防災看板・マップ、避難訓練・場所、防火水槽・消火器 等々



地域資源活用(班)

＜地域資源活用の目標・方針＞

- 本町の生活文化を創出する衣食住
- 本町ならではの資源を活かす：地理、小路、坂道、城下町 等々

＜地域資源活用の取組など＞

- 寺社、町家・街並み・西国街道、空き家の活用
- 環境整備：名所づくり、城跡の環境整備(堀の浄化、雑草除去…)
- 資源のネットワーク：ウォーキングコース…
- 行事・祭：本町三大行事、行事・祭の復活、やっさ踊りを本町へ…
- まちの案内、情報発信：年中行事の案内表の作成、SNSの活用…
- 体制づくり：ガイドの養成、本町勉強会、まず歩いてみる 等々



商店街・コミュニティ活性化(班)

＜商店街・コミュニティ活性化の目標・方針＞

- 立ち寄りたくなるまち、行ってみたいと思われるまち
- 住んでみたいまちづくり・歩きたくなるまち
- 西国街道と城下町の風情が彩る三原本町 等々

＜商店街・コミュニティ活性化の取組など＞

- 祭・行事・活動：本町三大行事、ハロウィン祭でのまち歩き、坂道を利用した健康ウォーキング、昔の祭の復活…
- 空き家活用：所有者・仲介者・利用希望者をつなぐ仕組み…
- 商店街の再生：歩行者天国、人の流れをつくる店(誘致)…
- 観光・交流：案内所、交流拠点…・NPOの設立、人材活用 等々

